

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	独立行政法人国立成育医療研究センター施設整備費		担当部局庁	医政局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度～		担当課室	国立病院課		課長：片岡佳和		
会計区分	一般会計		施策名	IV-1-5 政策医療を向上・均てん化させる				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	独立行政法人通則法(平成11年法律第103号)第46条		関係する計画、通知等	平成23年3月29日厚生労働省発医政0329第20号「平成23年独立行政法人国立成育医療研究センター施設整備費の国庫補助について」 平成23年5月2日厚生労働省発医政0502第3号「平成23年度独立行政法人国立成育医療研究センター施設整備費補助金交付要綱の一部改正について」				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	独立行政法人国立成育医療研究センターの施設の整備のために要する経費を補助することにより、同センターの業務(母性及び父性並びに乳児及び幼児の難治疾患、生殖器疾患その他の疾患であって、児童が健やかに生まれ、かつ、成育するために特に治療を必要とするものに係る医療に関し、調査、研究及び技術の開発並びにこれらの業務に密接に関連する医療の提供、技術者の研修等)の円滑な実施及び同業務の推進に資すること。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	独立行政法人国立成育医療研究センターが施行する研修施設の整備費							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	/	/	400	450	/	
		補正予算	/	/	/	/	/	
		繰越し等	/	/	▲ 78	78	/	
		計	/	/	321	450	/	
	執行額	/	/	321	/	/	/	
	執行率(%)	/	/	99.9%	/	/	/	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		/	単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	施設整備についての成果は、整備の完了であり、定量的な成果指標の設定は困難である。		成果実績	-	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		/	単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	施設整備についての活動を、定量的な活動指標をもって設定することは困難である。		活動実績(当初見込み)	-	-	-	-	-
単位当たりコスト	-		(円/ -)	算出根拠	-			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	施設整備費	450	-	24年度で事業完了予定				
	計	450	-					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	我が国の成育医療の中核的機関として、小児医療、母性医療、父性医療及び関連・境界領域を包括する成育医療に関し、研究・開発、医療提供、医療従事者の研修、情報発信、政策提言等を行っていることから、優先度の高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	我が国の成育医療の中核的機関として、小児医療、母性医療、父性医療及び関連・境界領域を包括する成育医療に関し、研究・開発、医療提供、医療従事者の研修、情報発信、政策提言等を行っていることから、国が実施すべき事業である。
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	－
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	「独立行政法人の事務・事業の見直しの基本方針」(平成22年12月7日閣議決定)を踏まえ、契約の徹底した適正化に取り組んでおり、競争性、透明性は確保されている。
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	－
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	－
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	－
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	「独立行政法人の事務・事業の見直しの基本方針」(平成22年12月7日閣議決定)を踏まえ、契約の徹底した適正化に取り組んでおり、競争性、透明性は確保されている。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	当センターの事業目的を遂行する実効性の高い手段と考えている。
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	－
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	－
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	－
	－	※類似事業名とその所管部局・府省名	－
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	整備された施設については、当センターの事業目的に沿って、活用されている。
点検結果	事業の目的や必要性等について精査した結果、現段階では、特段問題はない。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	独立行政法人国立成育医療研究センター施設整備費については、センターの施設整備に要する経費の補助のためのものであり、必要性や執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	引き続き、事業の目的や内容を踏まえながら、経費を精査しつつ、必要な予算の確保に努めるとともに、適正な執行を行ってまいります。		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

-

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年行政事業レビュー

-

平成23年行政事業レビュー

23新11

※平成23年度実績を記入

厚生労働省

321百万円

[施設整備費補助金]

独立行政法人国立成育医療研究センター

321百万円

【一般競争入札等】

A. 教育研修棟新築整備

株式会社イズミ・コンストラクション 他

321百万円

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.株式会社イズミ・コンストラクション			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
資産	教育研修棟新築工事	286			
計		286	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社イズミ・コンストラクション	教育研修棟新築工事	286		
2	コンストラクションインベストメントマネジャーズ株式会社	教育研修棟基本・実施設計業務、建築構想届出業務、工事管理業務	19		
3	株式会社コバ建設	宿舎解体その他工事	9	5	73.7%
4	株式会社アイガード	教育研修棟建設予定地の植栽撤去移設工事	3	1	52.7%
5	三陽測地株式会社	宿舎解体に伴う滅失登記申請業務	1	随意契約	
6	横浜エンジニアリング株式会社	宿舎解体に伴うアスベスト建材分析	0.3	随意契約	
7	株式会社ソイルシステム	教育研修棟新築工事に伴う地盤調査	0.7	4	22.9%
8	温調技研株式会社	宿舎解体に伴う外部雨水管改修工事	0.4	随意契約	
9	株式会社ビオス	宿舎解体に伴う浄化槽排水管路経路調査	0.3	随意契約	
10	東京清掃株式会社	宿舎解体に伴う浄化槽・汚水槽清掃業務	0.1	随意契約	

*「入札者数」及び「落札率」については、入札案件(契約案件)が複数含まれている。